

学校教育目標

学び合い、支え合い、たくましく生きる子どもの育成

| | | |
|---|---|--|
| <p>知識・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを持ち、発表できる(知) ・礼儀正しく、決まりや約束を守る(徳) ・楽しく根気強く、体力づくりに取り組んでいる。(体) | <p>思考力・判断力・表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴き合い、考えを出し合う(知) ・思いやりの心を持ち、支え合う(徳) ・自他の命や体を大切に(体) | <p>学びに向かう力・人間性の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究心をもって根気強く創意工夫する(知) ・感謝の心をもって、学校・家庭・地域に奉仕する(徳) ・健康安全を考え、自分の生活を改善する(体) |
|---|---|--|

《児童の学力状況》

○6年生 全国学力・学習状況調査 ※()内は全国比
 国語67(+2.6) 算数65(+1.8) 理科67(+3.6)

○5年生 大分県学力定着状況調査 ※()内は目標値比
 国語 71.6(+5.4) 算数69.3(+6.0) 理科65.5(+2.8)

○1年生から4年生の学力はおおむね定着している。

《取組指標》

基本を身に付け、学び合う子どもの育成。

《検証指標》

- ・やってみたく感じる課題を設定することを通して、「自ら進んで学習に取り組めた」と回答する児童80%以上【95%】
- ・自分の考えをもち、伝え合う場を設定することを通して、「自分の考えを広げ、深めることができた」と回答する児童80%以上【89%】
- ・まとめ、振り返りの場の充実を通して、「授業が分かった、できた」と回答する児童80%以上【91%】

※【 】内は1学期に実施した児童アンケートの結果

《授業改善テーマ》

学が楽しさを実感する児童の育成

<授業改善の重点1>

学び合いを生み出す授業づくり

取組内容

- ・全教科において、理解を高める為の視覚化支援を取り入れる
- ・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」のカードを活用し、板書の構造化を行い、その時間に学ぶことを明確にする
- ・追究したいと児童が感じる課題の設定
- ・子どもが考えを「もつ」、「伝える」、相手の考えを「聞く」活動を取り入れた交流活動を設定する
- ・「学びの根っこ」の提示。重点月間の設定により、学習規律の定着を図る
- ・自己決定・自己存在感・共感的人間関係を意識した問題解決的な展開の授業づくり

<授業改善の重点2>

個に応じた指導体制の工夫

取組内容

- ・各学年や個人に応じた家庭学習のあり方(時間・内容・方法)を指導し、基礎・基本の定着や活用する力の向上を目指す
- ・学習形態の工夫(少人数指導、個別指導、習熟別指導等)
- ・3年・4年・5年・6年の教科担任制授業の導入
- ・毎週火曜、朝の時間(チャレンジタイム)における内容の工夫と基礎基本の定着
- ・児童支援加配による個別指導
- ・支援が必要な児童に対し「個別の指導計画」を作成
- ・特別支援教育コーディネーターを中心としたケース会議や特別支援教育推進会議の定例化(第2金曜日)を行い、児童の支援の方向性を話し合う
- ・SSW, SCとの連携
- ・特別支援教育コーディネーターによる助言
- ・ICTの活用, 家庭学習との連動を見通した活用
- ・新1年生保護者への個人面談を実施し、情報を早期に収集
- ・学力定着状況調査の分析、全国学力・学習状況調査を踏まえた個人への支援をもとにした学力向上の計画と実践

育成を目指す資質・能力

人の話を聴き、自分の言葉で伝える力

< 家庭・地域との連携・協働 >

- 家庭と連携し家庭学習の習慣を図る
 - ・学年初めの懇談会で「家庭学習の手引き」を説明し、保護者との連携を図る
- 地域人材・地域素材を生かした体験活動を計画的に行う
- 学校運営協議会の実施により、連携・協働を図る
 - ・地域の方々による放課後の体験学習(月1回水曜日 ふれあい学びの広場)
 - ・特別支援学校との交流(4年, 交流学級)
 - ・高齢者福祉施設との交流(3年)
 - ・田植え、稲刈り体験(5年)
 - ・地域の方との清掃活動(6年)
 - ・教育ボランティア等外部人材の活用(校区内の税理士、昔の遊び体験、ミシン学習、花壇のお世話・鯉のお世話ボランティア等)

< その他の学力向上の取組 >

- 読書活動の推進
 - ・豊富な読書量で各教科の学力向上をねらう
 - ・高学年教室の近くに新聞コーナーの設置
 - ・調べ学習における図書館の活用
 - ・授業に関連した図書を学級に置き、知識を増やす
 - ・年2回の「図書館祭り」実施で、読書の楽しみ方を広げる
 - ・ボランティアによる読み聞かせ(低学年・月1回火曜日)
- 小中一貫・幼保小連携・キャリア教育
 - ・3校合同授業研究会、職員合同研修、小中互見授業
 - ・幼保小連絡協議会
 - ・3校合同音楽会(予定)、中学校体験授業、合同入学説明会(6年)
 - ・保育園、こども園との交流(2年)
 - ・宗方幼稚園との交流(1年, 5年)
- 体力を育て集中力を高める
 - ・新宗方サーキットの取組
 - ・天気の良い日の外遊びの奨励
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」で生活のリズムを整える
 - ・保健だよりや児童会活動との連携
 - ・給食で、バランスよく食べる指導を行うための栄養職員による声かけ